

工作実習 A (Manufacturing Engineering Practice A)

担当教員名	大森 茂俊	
学科、科目詳細	機械工学科 1年 前期 専門科目 必修科目 1単位 実習	
学習・教育目標	(G)	
科目的概要	個々の要素作業に習熟する基本的な実習とし、1. 基本的な作業動作を通じて基礎的な技術とは何かを理解する。2. 正しい作業手順を習得し、安全な作業の態度、習慣を養う。3. 物事を定量的に扱う習慣を養う。	
テキスト(参考文献)	プリントを配布	
履修上の注意	正しい保護具の着用、責任ある行動を常に心がけ、安全に作業を行うこと指導担当者による機器の構造・機能・操作に関する説明をしっかりと聞き、使用する機械・工具を正しく取り扱うこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) レポート(期日・内容等)60%、出席30%、その他(取組姿勢・協調性等)10%の総合で評価する。実技科目は学年を越えた継続性があるため欠席した場合、必ず追実習を受講すること。	1/3以上の欠課
連絡先	ohmori@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容

第1週 導入教育I 実習授業の説明、導入安全教育
第2週 導入教育II 工場ガイダンス・測定の基礎(測定機器を使用して計測を行う)
第3週 鋳造基礎実習I 鋳物の歴史、鋳物用工具の名称、突き棒とスタンプの使い方などについて
第4週 鋳造基礎実習II 鋳型硬度の測定、下型の込め方、上型の込め方、漏斗口の作り方等について
第5週 鋳造基礎実習III 壇の種類と役割、壇の切り方、木型の抜き方の基本的事項について
第6週 鋳造基礎実習IV アルミの溶解、鋳込みについて
第7週 溶接基礎実習I 溶接の原理、溶接作業の安全心得、保護具の正しい着用の仕方などについて
第8週 レポート作成
第9週 溶接基礎実習II 溶接機の構造と工具、アーク発生練習について
第10週 溶接基礎実習III ストレートとウイーピングビードの置き方・継ぎ方について
第11週 溶接基礎実習IV 仮付け作業、隅肉溶接の正しい脚長、ビードの重ね方などについて
第12週 手仕上基礎実習I 手仕上げ作業の説明とやすりなどの手工具の正しい使い方について
第13週 手仕上基礎実習II タップ・ダイスを用いたねじ加工の注意とボルト・ナットの製作
第14週 手仕上基礎実習III ケガキ作業と工具の基本的な使用方法の説明とコンパスで円を描く練習など
第15週 手仕上基礎実習IV 小型ボール盤や電気ドリルによる穴あけ作業の基本動作と正しい使い方
期末試験実施せず